

29.7.13

農業先端技術 沼津から

県研究拠点 来月3日開所



次世代栽培ゾーン 設置

▲研究室内に設置された液肥を循環させる栽培ユニット
11日、沼津市のAOIパーク



県は旧東海大開発工学部跡地(沼津市西野)に設置する農業を中心とした先端技術の研究拠点「AOI PARK」

の開所を8月3日に決め、稼働へ向けた準備を進めている。オープン1カ月前の今月3日には県農林技術研究所、研究成果の事業化支援を行う新組織アグリオープンイノベーション機構(藤井明代表理事)が施設内で業務を開始した。

地上5階地下1階建ての旧校舎のうち1、2階部分を使用し、1階に次世代栽培研究ゾーンを設ける。温度や湿度、二酸化炭素(CO₂)濃度などを植物の生育状況を検証する「栽培ユニット」を4カ所用意。農林技術研究所の担当者によると、部屋ごとに水耕栽培、培地栽培の

企業名	分野	主な研究テーマ
富士フィルム	栽培技術	植物工場での根菜類の効率的な生産技術
富士宮工場	栽培技術	有機液肥を使ったトマト大苗対応型閉鎖系育苗技術
アイエイアイ	栽培技術	トマトの低病害密栽培実用化に向けた育苗技術
鈴与商事	栽培技術	トマト育苗時の光や温度などの管理技術
トヨタネ	栽培技術	生食用ケールの養液栽培方法
石井育種場	栽培技術	オーリー栽培最適化研究
クレアファーム	栽培技術	完全閉鎖型植物工場の生産技術向上
イノバタス	栽培装置	閉鎖環境での可視光外波長域の植物生産応用
富士山グリーンファーム	栽培装置	反射板導入による使用照明エネルギー削減
アイゼット	品種開発	アブラナ科を基盤にした高機能性品種の育成
増田探種場	加工技術	マーケットイン型の高機能作物の開発
スマートアグリカルチャー	エネルギー効率化	先端農業におけるエネルギー

整える予定で、今月中旬以降に本格搬入する。同施設を活用して12企業が研究開発を行う。県と連携協定を締結した慶応大や理化学研究所は8月以降に入居する。県は14日、オフィスタイプの貸し出し研究室に入る企業を発表する方針。16年5月に設立され、沼津商工会議所に事務局を置く

(東部総局・橋爪充)